

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 米子南高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成重点校	提出日	令和5年4月17日
------	-----------------	-----	-----------

1 学校目標			
教育目標「大胆な挑戦」 ○自らの成長を実感できる学校づくり 1 意欲を育てる＝「主体性を育てる」「やる気を引き出す」 2 成長を支える＝「人との出会い、新たなことへの挑戦を促す」 3 変化を求める＝「現状に満足しない」「アンテナを高く張る」			
2 重点項目に係る目標・成果			
目標		成果	
1 基礎学力の向上および資格取得・検定合格を目指す。		商業学科 検定資格取得率は概ね達成したが、簿記分野が目標に達することができなかった。総合的な読解力の不足が原因の一つと考えられる。探求的要素を取り入れた学習活動を充実させたい。	
2 基本的な生活習慣の確立と社会性の涵養を目指す。		家庭学科 検定資格取得率は概ね達成した。高度な資格に挑戦する意欲と素質を持った生徒の育成と指導体制の構築が今後の課題である。	
3 キャリア教育の充実を図り、地域社会の発展に寄与できる人材を育成する。		共通 高度な資格に挑戦する生徒が少数であり、その合否結果によって合格率が大きく左右される。(例：保育技術検定1級4種目の受検者は3名。) 生徒には難しい資格にも積極的に挑戦するように勧めているところ。今後も、多くの生徒が挑戦できるような指導体制を作り上げ、生徒に働きかけていきたい。	
4 校外における教育活動、地元の企業・行政・住民と連携した課題研究、外部講師による講話などを積極的にを行い、地域貢献の意識を高め、同時に地元愛を育む。			
5 積極的な情報発信により教育活動の「見える化」を行う。			
<数値目標>		<数値結果>	
・就職内定率 100%		→97%	
・商業学科 各種検定の目標（卒業時取得率） ・特記のない検定は、全国商業高等学校協会主催			
簿記実務検定2級	55%以上	→30%	
情報処理検定2級(ビジネス情報部門)	60%以上	→66%	
商業経済検定3級	80%以上	→84%	
<分野別>			
マーケティング分野			
商業経済検定1級	25%以上	→78%	

商業経済検定 2級(マーケティング)	45%以上	→89%
商業経済検定 2級(経済活動と法)	60%以上	→78%
会計分野		
簿記実務検定 1級	50%以上	→44%
簿記実務検定 1級(会計)	50%以上	→44%
簿記実務検定 1級(原価計算)	50%以上	→56%
情報ビジネス分野情報処理検定 1級(ビジネス情報部門)		
	15%以上	→8%
情報システム分野		
情報処理検定 1級(プログラミング部門)	26%以上	→50%
情報処理検定 2級(プログラミング部門)	60%以上	→17%
・家庭学科		
各種検定の目標 (受験者数に対する合格率)		
・特記のない検定は、全国高等学校家庭科教育振興会主催		
2年生		
被服製作技術検定 (和服) 1級	70%以上	→87%
3年生		
被服製作技術検定 (洋服) 1級	100%	→100%
食物調理技術検定 1級	80%以上	→93%
保育技術検定 2級 4種目	100%	→100%
保育技術検定 1級 4種目	80%以上	→0%
全調協・技術考査	100%	→100%
全商・ビジネス文書実務検定 3級以上	90%以上	→75%
鳥取県技術顕彰		
(検定等上位級 2種目以上)	70%以上	→88%

3 実施事業

【高等学校課事業】

○外部人材活用事業

商業学科

- ・販売促進講習 (販売実習に向けての事前学習会)
- ・接遇実習 (社会人・社員としての基本マナー、接客の心構え、苦情の対処法、接客の実践)
- ・流通活動の現状 (小売業者の役割、小売業者のビジネス、今後の小売業)

家庭学科

- ・調理師業務について (調理師の仕事内容、調理師や社会人としての心構えについての講義)
- ・製菓技術 (生菓子、焼き菓子の講義及び実習)

○外部人材活用事業 (県立高校・大学教員交流事業)

商業学科

- ・マーケティングを学ぶ～企業マーケティングの実例より～(鳥取環境大学 経営学部 教授 磯野 誠氏)

家庭学科

- ・遺伝子組み換え食品等の安全性について (鳥取大学 医学部 講師 上田悦子氏)

○ふるさとキャリア教育充実事業

- ・「先輩に学ぶ」: 本校を卒業した学生や社会人を招き講演会を行った。

- ・「地域や社会に求められる人材像」：地元企業の社長を招き、職業観・勤労観を育成する講演会を行った。

【独自事業】

①授業改革

- ・観光ビジネスに対応した授業研究（専門教育を実施するための職員研修）
- ・主体的に学ぶプログラミング学習（プログラミング授業の充実）

②人間力向上事業

- ・地域との交流を通じた人財の育成（米南みつばち学習発表会、調理コース成果発表）
- ・環境学習推進プロジェクト（環境教育講演会）

③スペシャリスト養成事業

- ・食の安全専門研修（食品衛生施設見学、食品製造工場見学、大学研究機関での講義実験）
- ・コンテンツ制作を通して産業を支える人財の育成（企業のポスター広告やロゴの作成など）
- ・学びに活かせるアプリの開発（プログラミング学習、アプリ開発支援）

④キャリア教育支援事業

- ・進路指導の充実（学校・企業見学会（1年生））
- ・資格取得の推進（資格取得のための学習会）

⑤グローバル人財育成推進事業

- ・米南地域おこしプロジェクト（大都市圏に対応した販売実習）

⑥専門高校魅力発信事業

- ・専門科の魅力を直発信（中学生体験入学）

4 総合所見（成果・評価）

感染予防対策のためいくつかの事業が中止となったが、昨年度より地域や社会と関わる機会も増え、生徒も多くの貴重な体験を積むことができた。今後も地域を愛し、地域に愛される人材の育成をめざし、地域に積極的に向かい合い、探究的な要素を取り入れた、生徒が主体的に取り組む学習活動を展開していきたい。

※枚数任意